

「胸腺上皮悪性腫瘍に対する手術の予後貢献度について」

研究実施のお知らせ

1. 研究の対象となる方

2009年1月～2019年12月に当院第2外科で胸腺上皮悪性腫瘍の手術を受けた方へ

2. 研究の目的

胸腺上皮腫瘍は非常に症例数の少ない疾患になります。そのため、現在も十分なエビデンスが確立されていません。化学療法の内容についてはごく一部の治療法以外に国内では保険適応ですらないのが現状です。胸腺上皮腫瘍に対して完全切除が可能な場合には外科切除が最も多く行われます。しかし、胸腺上皮悪性腫瘍は発見時にすでに進行期であることが多く単独治療による成績は限界があり、化学療法と放射線照射を併用した集学的治療を必要とすることが多くあります。本研究の目的は胸腺上皮悪性腫瘍に対して手術を行った症例について情報集積することでその予後因子について検討することです。

3. 研究の方法

当院において胸腺上皮悪性腫瘍に対して手術を施行した患者さんについて周術期、術後経過の情報を収集し、その成果について検討します。情報は診療録から収集するためすべて日常診療で実施されるものです。本研究において追加で患者さんに情報提供を依頼することはありません。

<胸腺上皮悪性腫瘍とは>

胸腺とは心臓の前に存在する臓器で幼少期に人の免疫機能を形成する重要な臓器です。免疫が形成されたのちは役目を終えて徐々に縮小していき、成人以降はただの脂肪の塊のような様子をしています。胸腺上皮悪性腫瘍はその胸腺にできる癌のことです。いわゆる悪性腫瘍とはさまざまな形態をもっており、皮膚や粘膜に近い形態をもつもの、筋肉や脂肪に近い形態をもつものなどがあります。上皮悪性腫瘍は皮膚や粘膜に近い形態をもつものです。

4. 研究期間

研究機関の長の許可日 ～ 2024年3月31日

5. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：年齢、生年月日、病歴、治療歴、合併症等の発生状況、カルテ番号 等

6. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

この研究は以下の責任者のもとで実施します。試料・情報の利用者は外科学講座第2教室および集中治療部の研究者のみです。

【研究責任者】

山梨大学 外科学講座第2教室

内田 巖

7. 試料・情報の管理について責任を有する者

山梨大学

8. 個人情報の取扱いについて

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

9. 利益相反（企業との利害関係）について

本研究に開示すべき利益相反はありません。

10. お問い合わせ等について

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又は FAX にてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又は FAX にてご連絡ください。

<照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先>

山梨大学 外科学講座第2教室 内田 巖

メールアドレス：uchidat@yamanashi.ac.jp

TEL：055-273-9682

FAX：055-273-6767